

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月6日

上場会社名 株式会社アドウェイズ

上場取引所 東

コード番号 2489 URL https://www.adways.net/

(役職名) 代表取締役 代表者

(氏名)山田 翔

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理担当 (氏名)田中 庸一 TEL 03-6771-8512

配当支払開始予定日 決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無

:有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主に 四半期純	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	8, 870	△6. 1	5	△93. 4	225	△34. 2	97	△53.7
2024年12月期第3四半期	9, 442	△6. 7	78	△88.0	343	△62. 2	210	△68.6

(注)包括利益 2025年12月期第3四半期 △104百万円(一%) 2024年12月期第3四半期 84百万円 (△84.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	2. 50	_
2024年12月期第3四半期	5. 39	_

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しており ません。

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第3四半期	21, 703	13, 686	61.0	338. 98
2024年12月期	22, 884	13, 885	58. 9	344. 95

(参考)自己資本

2025年12月期第3四半期

13, 247百万円

2024年12月期

13,481百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
2024年12月期	_	0.00	_	3. 00	3.00		
2025年12月期	_	0. 00	_				
2025年12月期(予想)				6. 35	6. 35		

- (注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無
 - 2.2025年12月期は、2024年12月期末の発行済株式数から自己株式を除いた39,082,120株から1株当たり配当金を算出 しております。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

		売上	高	営業和	间益	経常和	ii益	親会社株3		1株当たり 当期純利益
ſ		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
	通期	11, 700	△7.8	20	△88.0	170	△66.3	20	_	0. 51

- (注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無
 - 2.1株当たり当期純利益は、当第3四半期累計期間の期中平均株式数39,082,120株から算出しております。
 - 3. 詳細は、添付資料「1. 経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更:無
- (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無
- (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 :無
 - ③ 会計上の見積りの変更 :無
 - ④ 修正再表示 :無
 - (注)詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期30	42, 006, 000株	2024年12月期	42, 006, 000株
2025年12月期30	2, 923, 880株	2024年12月期	2, 923, 880株
2025年12月期30	39, 082, 120株	2024年12月期30	39, 082, 120株

- ※添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー:無
- ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

本資料の開示とあわせて、決算説明会資料を開示しております。

また、2025年11月6日(木)に機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け決算説明会を開催する予定であります。

本説明会の動画(2025年12月期第3四半期の業績・事業概況の説明)へのアクセスURLは、開催日同日に当社ウェブサイト(https://ir.adways.net/)にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1.	. 当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)経営成績に関する説明	2
	(2)財政状態に関する説明	4
	(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
	(1)四半期連結貸借対照表	5
	(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(会計方針の変更に関する注記)	8
	(セグメント情報等の注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
	(重要な後発事象の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年1月1日から2025年9月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、売上高8,870,745千円、営業利益5,177千円、経常利益225,663千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は97,519千円となりました。

[連結業績] (単位:千円、端数切捨て)

				前第3四半期 連結累計期間 (2024年12月期)	当第3四半期 連結累計期間 (2025年12月期)	増減額 (増減率)
売	Т	=	祀	9, 442, 161	8, 870, 745	△571, 415 (△6. 1%)
営	業	利	益	78, 528	5, 177	$\triangle 73, 351$ ($\triangle 93. 4\%$)
経	常	利	益	343, 046	225, 663	△117, 383 (△34. 2%)
	社株主 半 期	に帰属 純 利		210, 508	97, 519	△112, 989 (△53. 7%)

当第3四半期連結累計期間においては、アドプラットフォーム事業における全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」の広告需要は増加いたしましたが、第2四半期連結会計期間に引き続き、国内のエージェンシー事業における大手の広告主(クライアント)3社からの広告需要が減少した結果、売上高は8,870,745千円(前年同期比6.1%減)となりました。

販売費及び一般管理費における人件費及び採用教育費等を抑制したことにより販売費及び一般管理費は減少したものの、売上高の減少に伴い、売上総利益が減少したことにより、営業利益は5,177千円(前年同期比93.4%減)となりました。

経常利益は、営業利益及び持分法による投資利益が減少したこと等により225,663千円(前年同期比34.2%減)となりました。

税金等調整前四半期純利益は、経常利益及び投資有価証券売却益が減少したこと等により368,143千円(前年同期比38.8%減)となりました。

上記の結果、法人税等を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は97,519千円(前年同期比53.7%減)となりました。

[セグメント別業績] (単位:千円、端数切捨て)

			前第3四半期 連結累計期間 (2024年12月期)	当第3四半期 連結累計期間 (2025年12月期)	増減額 (増減率)
	①アドプラットフォーム事業	2, 928, 158	3, 345, 634	417, 476 (14. 3%)	
		国内	4, 137, 580	3, 087, 366	$\triangle 1,050,213$ ($\triangle 25.4\%$)
外部 売上高	②エージェンシー事業	海外	1, 333, 168	1, 382, 064	48, 895 (3. 7%)
		合計	5, 470, 748	4, 469, 430	$\triangle 1,001,318$ ($\triangle 18.3\%$)
	③その他		1, 043, 254	1, 055, 680	12, 426 (1. 2%)
	①アドプラットフォーム事業	411, 435	727, 143	315, 708 (76. 7%)	
セグメント利益	②エージェンシー事業	1, 020, 397	485, 105	△535, 291 (△52. 5%)	
	③その他	268, 313	188, 054	$\triangle 80, 258$ ($\triangle 29, 9\%$)	

①アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業は、スマートフォン向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」等、当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告の販売及び運用を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」におけるブランド 広告の需要、及びアフィリエイト広告サービス「JANet」におけるクレジットカード等の金融関連企業からの広告 の需要が増加いたしました。

これらの結果、アドプラットフォーム事業の売上高は、3,345,634千円(前年同期比14.3%増)、セグメント利益は727,143千円(前年同期比76.7%増)となりました。

②エージェンシー事業

エージェンシー事業は、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援のため、アドプラットフォーム事業で提供している当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告に限らず、広告商品及び付随するサービスの代理販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、第2四半期連結会計期間に引き続き、国内のエージェンシー事業では大手の広告主(クライアント)3社の広告に対する方針の変更等により広告需要が減少しました。海外のエージェンシー事業では、中国におけるブランド広告については、一部の広告主(クライアント)からの広告需要が減少したものの、ゲームアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要が増加しました。

これらの結果、エージェンシー事業の売上高は4,469,430千円(前年同期比18.3%減)、セグメント利益は485,105千円(前年同期比52.5%減)となりました。

③その他

その他は、士業向けのポータルサイトの運営や、インフルエンサーマーケティングの企画運営、サウナの運営 事業等の新規事業等により構成されています。

当第3四半期連結累計期間においては、インフルエンサーマーケティングの企画運営、サウナの運営事業等で売上高が増加したこと等により、売上高は1,055,680千円(前年同期比1.2%増)となりました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間に新規事業を開始した連結子会社が事業開始直後のため営業損失となっていること等が影響し、セグメント利益は188,054千円(前年同期比29.9%減)となりました。

(2)財政状態に関する説明

(単位:千円、端数切捨て)

			前連結会計年度 (2024年12月期)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月期)	増減額 (増減率)
資	産 合	計	22, 884, 884	21, 703, 089	△1, 181, 794 (△5. 2%)
負	債 合	計	8, 999, 448	8, 016, 823	△982, 624 (△10. 9%)
純	資 産 合	計	13, 885, 435	13, 686, 265	△199, 169 (△1. 4%)

[資産合計]

- ・流動資産は前連結会計年度末より827,263千円減少し17,552,218千円となりました。主な要因は、その他に含まれる未収入金が669,541千円、未収消費税が103,377千円増加したものの、現金及び預金が1,197,774千円、受取手形、売掛金及び契約資産が443,930千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は前連結会計年度末より354,531千円減少し4,150,870千円となりました。主な要因は、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が422,214千円減少したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より885,230千円減少し7,747,819千円となりました。主な要因は、買掛金が345,856千円、未払法人税等が146,486千円、その他に含まれる未払消費税が151,691千円、未払金が123,933千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より97,394千円減少し269,003千円となりました。主な要因は、繰延税金負債が100,133千円減少したことによるものであります。

[純資産合計]

・前連結会計年度末より199,169千円減少し13,686,265千円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が174,878千円減少したことによるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが主に手掛けているインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携を行うことで、取引の拡大と売上の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の当社グループにおきましては、全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」が好調となり、アプリ広告やブランド広告の今後のさらなる成長を見込んでおりますが、国内のエージェンシー事業においてはゲームアプリやマンガアプリにおけるクライアントの方針変更による広告予算の縮小等の影響もみられます。

これらの状況を踏まえ、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2025年12月期(2025年1月1日~2025年12月31日)の売上高は、11,700百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加により20百万円を見込んでおり、経常利益170百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は20百万円を見込んでおります。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の 業績予想並びに中間連結会計期間における連結業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1)四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10, 035, 171	8, 837, 396
預け金	5, 375	· · · -
受取手形、売掛金及び契約資産	7, 702, 639	7, 258, 709
棚卸資産	1, 802	3, 322
その他	661, 746	1, 465, 560
貸倒引当金	$\triangle 27, 253$	\triangle 12, 769
流動資産合計	18, 379, 481	17, 552, 218
固定資産		•
有形固定資産	1, 154, 936	1, 235, 438
無形固定資産	_,,	_,,
のれん	54, 814	58, 776
その他	11, 457	114, 628
無形固定資産合計	66, 271	173, 405
投資その他の資産	00,211	110, 100
投資を心臓の資産	2, 779, 210	2, 356, 995
長期貸付金	32, 092	50, 091
その他	1, 352, 943	1, 179, 575
貸倒引当金	△880, 051	1, 179, 575 △844, 635
投資その他の資産合計	3, 284, 194	2,742,026
固定資産合計		
	4, 505, 402	4, 150, 870
資産合計 2.45-2-45	22, 884, 884	21, 703, 089
負債の部		
流動負債		
買掛金	6, 562, 263	6, 216, 407
未払法人税等	317, 555	171, 069
その他	1, 753, 231	1, 360, 343
流動負債合計	8, 633, 050	7, 747, 819
固定負債		
繰延税金負債	171, 306	71, 173
退職給付に係る負債	21, 894	23, 701
その他	173, 196	174, 128
固定負債合計	366, 397	269, 003
負債合計	8, 999, 448	8, 016, 823
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 717, 126	1, 717, 126
資本剰余金	5, 368, 092	5, 368, 069
利益剰余金	7, 388, 317	7, 383, 064
自己株式	$\triangle 2,091,607$	$\triangle 2,091,607$
株主資本合計	12, 381, 927	12, 376, 652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292, 023	117, 145
為替換算調整勘定	789, 414	734, 756
退職給付に係る調整累計額	17, 862	19, 442
その他の包括利益累計額合計	1, 099, 300	871, 344
新株予約権	132, 472	156, 616
非支配株主持分	271, 734	281, 652
純資産合計	13, 885, 435	13, 686, 265
負債純資産合計	22, 884, 884	21, 703, 089
六 [大] (工 L J L J L J L J L J L J L J L J L J L	22, 004, 004	21, 103, 009

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	(単位・十円)
前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年9月30日)
9, 442, 161	8, 870, 745
1, 751, 270	1, 583, 071
7, 690, 891	7, 287, 673
7, 612, 362	7, 282, 496
78, 528	5, 177
14, 690	20, 166
2, 738	1,836
187, 924	138, 009
27, 325	57, 337
51,936	22, 891
284, 615	240, 240
10, 555	17, 563
4, 731	_
4, 810	2, 190
20, 097	19, 753
343, 046	225, 663
3, 590	268
397, 577	209, 717
27, 603	5, 141
<u> </u>	4, 776
428, 771	219, 903
641	_
1, 975	_
	66, 367
19, 431	578
_	2, 134
	8, 343
	77, 423
601, 151	368, 143
314, 572	266, 342
56, 549	△17, 194
371, 122	249, 148
230, 029	118, 995
19, 520	21, 476
210, 508	97, 519
	(自 2024年1月 1日 至 2024年9月30日) 9, 442, 161 1, 751, 270 7, 690, 891 7, 612, 362 78, 528 14, 690 2, 738 187, 924 27, 325 51, 936 284, 615 10, 555 4, 731 4, 810 20, 097 343, 046 3, 590 397, 577 27, 603 —— 428, 771 641 1, 975 98, 256 19, 431 —— 50, 361 170, 666 601, 151 314, 572 56, 549 371, 122 230, 029 19, 520

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	230, 029	118, 995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△220, 446	△174 , 445
為替換算調整勘定	22, 835	\triangle 11, 477
退職給付に係る調整額	$\triangle 464$	1,580
持分法適用会社に対する持分相当額	52, 666	△38, 752
その他の包括利益合計	△145, 407	△223, 095
四半期包括利益	84, 621	△104, 099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67, 400	△130, 437
非支配株主に係る四半期包括利益	17, 221	26, 337

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

		報告セグメント		その他	A =1	調整額	四半期連結損
	アドプラット フォーム事業	エージェン シー事業	計	(注)1	合計	(注)2	益計算書計上 額(注)3
売上高	7 77	1 7 7/2					
国内	2, 899, 331	4, 137, 580	7, 036, 911	1, 043, 254	8, 080, 166	_	8, 080, 166
海外	28, 826	1, 333, 168	1, 361, 995	_	1, 361, 995	_	1, 361, 995
顧客との契約から生じる収益	2, 928, 158	5, 470, 748	8, 398, 906	1, 043, 254	9, 442, 161	-	9, 442, 161
外部顧客に対する売上高	2, 928, 158	5, 470, 748	8, 398, 906	1, 043, 254	9, 442, 161	_	9, 442, 161
セグメント間の内部売上高又 は振替高	502, 030	165, 375	667, 405	300, 742	968, 147	△968, 147	_
計	3, 430, 188	5, 636, 124	9, 066, 312	1, 343, 996	10, 410, 309	△968, 147	9, 442, 161
セグメント利益	411, 435	1, 020, 397	1, 431, 832	268, 313	1, 700, 146	△1, 621, 617	78, 528

- (注)1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益の調整額△1,621,617千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。
 - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失) 該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動) 該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益) 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

		報告セグメント		その他	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	アドプラット フォーム事業	エージェン シー事業] 	(注)1			
売上高							
国内	3, 308, 861	3, 087, 366	6, 396, 227	1, 055, 680	7, 451, 908	_	7, 451, 908
海外	36, 773	1, 382, 064	1, 418, 837	_	1, 418, 837	_	1, 418, 837
顧客との契約から生じる収益	3, 345, 634	4, 469, 430	7, 815, 064	1, 055, 680	8, 870, 745	l	8, 870, 745
外部顧客に対する売上高	3, 345, 634	4, 469, 430	7, 815, 064	1, 055, 680	8, 870, 745	-	8, 870, 745
セグメント間の内部売上高又 は振替高	409, 363	75, 343	484, 706	305, 519	790, 226	△790, 226	_
計	3, 754, 997	4, 544, 774	8, 299, 771	1, 361, 200	9, 660, 972	△790, 226	8, 870, 745
セグメント利益	727, 143	485, 105	1, 212, 248	188, 054	1, 400, 303	△1, 395, 126	5, 177

- (注)1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益の調整額 \triangle 1,395,126千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。
 - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失) 該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動) 該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	
	(自 2024年1月 1日	(自 2025年1月 1日	
	至 2024年9月30日)	至 2025年9月30日)	
減価償却費	169,010千円	90,347千円	
のれんの償却額	6, 586	15, 595	

(重要な後発事象の注記) 該当事項はありません。